

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」
出演希望調書 No.1 (共通)

制作団体名	公益財団法人せたがや文化財団
公演団体名	世田谷パブリックシアター

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	該当	種目
【音楽】		合唱, オーケストラ等, 音楽劇, その他
【演劇】	○	児童劇, <u>演劇</u> , ミュージカル, ノンバーバルその他
【舞踊】		バレエ, 現代舞踊, その他
【伝統芸能】		歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸, その他
【美術】		洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他
【メディア芸術】		映像, メディアアート等, その他

取り組み (該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
○	①障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

高次脳機能障害

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分 (該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
○	《D 区分》公演をメインプログラムとする企画
	《E 区分》ワークショップを中心とする企画 ※ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等 (原則として令和5年6月1日(木)～令和6年1月31日(水)まで)

可能期間	令和5年7月1日～令和6年1月31日
連日公演の可否	<input checked="" type="checkbox"/> / 不可

実施可能地域(実施可能な地域名の前に○を付してください。)

該当	地域	都道府県
	<input type="checkbox"/> 限定なし	
	<input type="checkbox"/> 北海道	北海道
	<input type="checkbox"/> 東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
	<input type="checkbox"/> 南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
	<input type="checkbox"/> 北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
	<input type="checkbox"/> 北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
	<input type="checkbox"/> 東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
	<input type="checkbox"/> 近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
	<input type="checkbox"/> 中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
	<input type="checkbox"/> 四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
	<input type="checkbox"/> 九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんせたがやぶんかざいだん 公益財団法人せたがや文化財団		
代表者職・氏名	公益財団法人せたがや文化財団理事長 青柳正規		
制作団体所在地	〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー5階		
制作団体 設立年月	1997年 4月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	高萩宏(世田谷文化生活情報センター館長) 酒井忠康(世田谷美術館館長) 亀山郁夫(世田谷文学館館長) 松下洋章(公益財団法人せたがや文化財団事務局長)	特になし	
事務体制の担当	専任 ・ <input type="checkbox"/> 他の業務と兼任	Web サイト等 URL	https://www.setagaya-bunka.jp/about/
本事業担当者	恵志美奈子(劇場部学芸)	本件連絡先	電話番号 03-5432-1526 メールアドレス m-eshi@setagaya-ac.net
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	黛 和晃

【公演団体について】

ふりがな 公演団体名	せたがやぱぶりっくシアター 世田谷パブリックシアター
代表者職・氏名	世田谷パブリックシアター芸術監督 白井晃

Web サイト等 URL	https://setagaya-pt.jp/
特別支援学校等 における活動実 績や障がいを持 ったアーティスト の活動を広げる 公演等の活動実 績	<p>【主催事業】 1994 年度より世田谷区内小中学校に訪問する演劇ワークショップ事業「かなりゴキゲンなワークショップ巡回」を立ち上げ、特別支援学級や不登校支援学級を訪問している。直近 3 年間の特別支援級等への実績は以下の通りである。</p> <p><u>2021 年度</u> 笹原小学校「目の教室」:2021年6月2日、21日、22日、25日 烏山小学校「つくし学級1年」:(特別支援級の児童が通常級に合流の形で3回 x2クラス) ① 2022年2月16日、24日、3月1日 ② 2022年2月17日、22日、3月1日 烏山小学校「つくし学級2年」:(特別支援級の児童が通常級に合流の形で3回 x3クラス) ① 2022年1月27日、2月14日、3月15日 ② 2022年1月26日、2月18日、3月17日 ③ 2022年1月26日、2月14日、3月17日 ほっとスクール城山:2021年11月25日、2022年1月28日、2月25日</p> <p><u>2020 年度</u> ほっとスクール城山:2020年11月4日、25日、12月16日</p> <p><u>2019 年度</u> 笹原小学校「目の教室」:2019年6月5日、25日、27日、28日、7月3日 祖師谷小学校「ポプラ学級1年」:2月7日、14日 ほっとスクール城山:2019年7月5日、10月15日、12月11日、18日</p> <p>【劇場提携公演】 東京都立青鳥特別支援学校(世田谷区池尻)の「表現活動部」の卒業生を中心に2002年 に設立された劇団、SAC ミュージカル(http://sac-musical.com/)と提携し、隔年で公演を 実施している。稽古の際には劇場稽古場を貸し出すとともに、技術面でも劇場技術部が 手厚い支援をおこなっている。直近 3 回の内容は以下のとおり。</p> <p>SAC ミュージカル 『怒羅吸羅』 上演日:2021 年 10 月 9 日～10 日(全 4 回) 会場:シアタートラム 主催:SAC ミュージカル 脚本・構成・演出・振付:渡部朱美</p> <p>SAC ミュージカル 『ブンナよ、木からおりてこい』 上演日:2019 年 9 月 7 日～9 日(全 3 回) 会場:シアタートラム 主催:SAC ミュージカル 脚本・構成・演出・振付:渡部朱美</p> <p>SAC ミュージカル 『クラウディア!』 上演日:2019 年 9 月 7 日～9 日(全 3 回) 会場:シアタートラム 主催:SAC ミュージカル 脚本・構成・演出・振付:渡部朱美</p>

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」出演希望調書 No.2

《D 区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体名 世田谷パブリックシアター】

企画名	障害のあるアーティストが自らの人生を伝える演劇プロジェクト	
主な対象学年	小学3年生～6年生、中学生	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	ワークショップ	40人
	本公演	40人
企画の動画等の資料	URL	PW

公演について

主な演目 原作／作曲 脚本 演出／振付等	作品「ともにやの部屋～黒田真史さん編～」 脚本・演出:大道朋奈			公演時間(40分)
	著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	
演目概要	<p>「ともにやの部屋」は、障害当事者が語るライフストーリーをもとに、脚本・演出担当の大道朋奈氏や障害当事者たちが集団創作した演劇作品です。障害当事者の歩んできた人生を、時におもしろく、時にシリアスにまとめあげました。大道氏演じる「ともにや」がホスト役となり、障害当事者が表現者の一人として、自らの人生を伝えていきます。障害を持つようになったきっかけ、今現在障害とともにどのように生活しているのかなど、子どもたちにとって距離を感じてしまいがちな「障害」に対して、理解を深め、どのように向き合うべきかを考えるきっかけを作る作品です。公演と同時にワークショップも実施します。【公演時間(40分)+ワークショップ(45分) 授業2時限分を活用】</p> <p>この作品の主人公である黒田真史さんは、18歳の時に、友人の運転する車に乗車中、脳が飛び出すほどの大きな交通事故に合いました。高次脳機能障害となり、発語や移動もままならなくなり、失意のどん底にいましたが、リハビリを重ねて、食べること、一人で出かけること、タブレットを使いながら意思を伝えることなどを、一つずつ自分らしく暮らしていくために実現してきました。今では、一人でスーパーに行って買い物をする方法も考えて実践したりもしながら、自分のできる形で社会とコミュニケーションを取りながら暮らしています。</p>			
公演従事予定者の編成 (1公演あたり)	出演者:5人(うち障害を持ったアーティスト1人) 舞台監督:1人			
公演に当たり必要な会場条件	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台の設置場所 (<input type="checkbox"/> 教室 ・ <input type="checkbox"/> 体育館) ・舞台に必要な広さ ・電源容量(主幹ブレーカー容量) A ・暗転の要否(要 ・ <input type="checkbox"/> 不要) ・その他 			

会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無) 会場設営の所要時間(0.5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	時	8時30分～9時	9時～11時	0分	11時～12時	12時
派遣について	移動方法の制約等	アーティスト(車いす)の移動方法については、会場ごと検討する。				
	運搬規模	普通車 1 台程度				

ワークショップについて

ワークショップ	(内容) 「ともにやの部屋」の上演後、体を動かしたり、感想を話したり、作品にまつわるキーワードについて小グループでディスカッションをしたりします。また、障害を持つアーティストと直接コミュニケーションをとる時間を設け、フラットな関係性の中で障害理解を促すようなワークを行います。(所要時間 45 分)
	(体制) ワークショップファシリテーター:3 人(内障害を持つアーティスト 1 人) ワークショップファシリテーターアシスタント:2 人
	(目的とする効果) 作品鑑賞後、子どもたち一人ひとりが感じたり、考えたりしたことを、他者と共有し、障害への理解をより深めることを目的とします。また、上演作品に出演している障害当事者と直接コミュニケーションを取ることで、子どもたちが障害をより身近なものとしてとらえられるようになることを目指します。

企画全体について

企画のねらい	本作のテーマを担う存在であり、出演者でもある障害当事者は、後天的に生じた障害、高次脳機能障害を持っています。どのような経緯で障害を持つに至ったのか、そして障害とどのように向き合いながらこれまでの人生を歩んできたのかを子どもたちに知ってもらい、子どもたちが障害とは何かを理解すると同時に、障害者である前に一人の人として出会い、向き合うことの大切さを学ぶことをねらいとします。また、演劇という形式で提示することによって、子どもたちが身近なテーマとして受けとめやすくなることを目指します。
特別支援学校等での実施における工夫等	作品そのものは、非常にシンプルでわかりやすく、音楽や動きも多く取り入れているので、障害児にとっても受け入れやすいものとなっています。ワークショップについては、学校教員にもワークに加わってもらったり、ファシリテーターを増やしたりすることで、より丁寧なコミュニケーションをとれるように工夫をこらして実施します。
取り組み②(P. 1【募集する取り組み】を参照)で応募する場合、特に重点的に解決に取り組んできた課題(具体的な障がいの種類も記入すること)	
協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等	○協力機関における専門員 川邊 循/ケアセンターフラット(社会福祉法人世田谷ボランティア協会) 施設では、黒田さん、中川さんの支援員として勤務。当プロジェクトのコーディネートの役割を担っています。 ○団体内における専門員 中村 麻美/世田谷パブリックシアター(公益財団法人せたがや文化財団) 前職で横浜市福祉作業所の支援員として勤務。障害福祉と演劇両方の専門性を持っています。

世田谷パブリックシアター

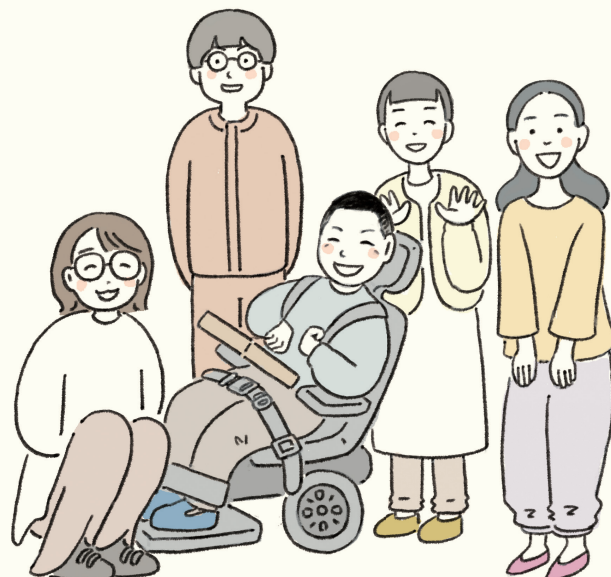
「ともにゃの部屋 ～黒田真史さん編～」

令和4年度実施報告書

ともにゃの部屋

～黒田真史さん～

+ワークショップ



【実施概要】

「ともにゃの部屋」は、障害当事者が語るライフストーリーをもとに、脚本・演出担当の大道朋奈氏や障害当事者たちが集団創作した演劇作品です。障害当事者の歩んできた人生を、時におもしろく、時にシリアスにまとめあげました。大道氏演じる「ともにゃ」がホスト役となり、障害当事者が表現者の一人として、自らの人生を伝えていきます。障害を持つようになったきっかけ、今現在障害とともにどのように生活しているのかなど、子どもたちにとって距離を感じてしまいがちな「障害」に対して、理解を深め、どのように向き合うべきかを考えるきっかけを作る作品です。公演と同時にワークショップも実施しました。

※公演時間（40分）＋ワークショップ（45分） 授業2時限分を活用

【実施校及び日程】

- ・本庄市立旭小学校 4年生 32人＋特別支援学級7人（2022年12月8日）
- ・伊勢原市立伊勢原中学校 演劇部生徒43人（2022年12月13日）
- ・世田谷区立明正小学校 6年生 38人、36人（2023年1月23日、24日）
※受験シーズンで欠席の児童が多く、2クラスずつ合同で行った。
- ・軽井沢風越学園 3・4年生合同48人（2023年1月30日）

【出演者】

黒田真史・大道朋奈・有吉宣人・大塚由祈子・高野栞

【鑑賞した子どもたちからの声】

・わたしが1ばん楽しかったのは、クイズです。とても楽しかったです。2ばんは、げきです。車が3かいてんもまわるとかながえたらこわいと思いました。これからは、しょうがいをもっている人やおとしより、目がわるい人がいたら、なにかてつだいましょうかとかえをかけてたすけたいです。

・わたしが心にのこったことは、「わたしは不じゆうになりたくないなー。だって不じゆうになったらなにもできなくなっちゃうもん」と思っていたのですが、今日のえんげきを見て、不じゆうでも新しいことをはっけんすることがあると、学びました。

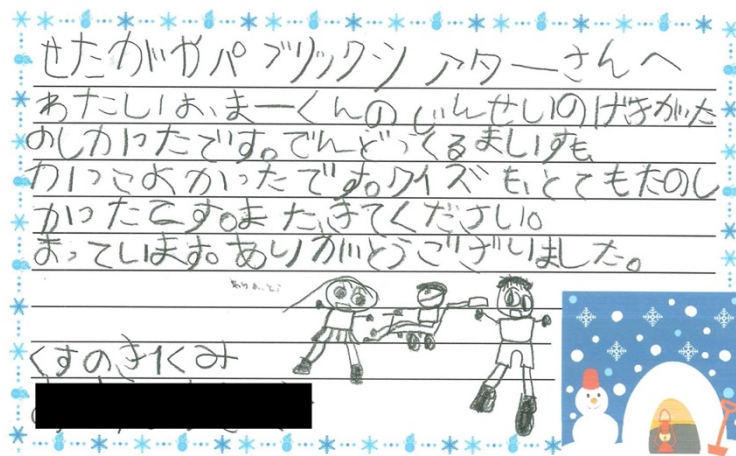
・わたしは、えんげきで、体にしょうがいがある人でも何にもできないわけではなく、体にしょうがいがあるからこそできる体験があるということがわかりました。もし、黒田さんのような方に出会ったら、勇気を出して、声をかけられたらいいです。

・僕は今まで障害を持っている方には人一倍気を遣っていたのですが、黒田さんの話で、障害を持っている方にも、同じように接していきんだなと思いました。

・黒田さんが笑ったら僕らも笑って嬉しかったです。

・自分は少し障害の方に苦手意識がありましたが、黒田さんと交流をして、いつのまにか苦手意識が無くなりました。

・僕自身、障害のある方の勝手ながら壁を感じており、特別優しくしなければと思っていましたが、普通に接していいんだなというふうになりました。また、どこかでお会いできればと願っています。



【実施の様子】

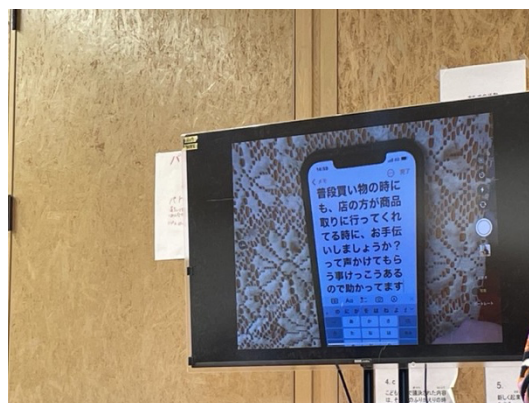
◎前半の「ともにやの部屋～黒田真史さん編～」上演中の様子



◎後半のワークショップの様子



黒田さんに関するクイズをしている様子。モニターを使って、黒田さんが日々更新しているインスタを見ている。



黒田さんのコミュニケーションツールであるスマホの画面。



黒田さんに関するクイズをしている様子。モニターを使って、黒田さんが日々更新しているインスタを見ている。

【安心の設計】演劇通じ障害者を身近に 小中学生向け ユーモア交え日常「熱演」

2023/02/27 05:00 [\[読者会員限定\]](#)

メモをする



子どもたちと交流する黒田さん（左から2人目）と役者ら（東京都世田谷区で）

障害がある人の半生を演劇にし、理解を深めてもらおうと、公共劇場「世田谷パブリックシアター」（東京）が小中学生向けに巡回公演している。日々の喜びや悩みをユーモアを交えて伝えることで障害者を身近に感じられるよう工夫がなされている。都内の公演を訪ねた。（石井千絵）



「行ってみたい、でも行けるのかな……。何としても行かなくちゃ！」

障害者役の役者が声を張り上げる。演じられているのは東京都世田谷区内に住む高次脳機能障害の黒田真史さん（46）の日常だ。

黒田さんは発語が不自由だが、劇中で役者は、思いをセリフで表現する。この場面は、障害を負ってから初めて遠方の旅行に挑戦した日を再現。支援団体の助けを得て、介護タクシーで空港まで行き、空港専用の車椅子に乗り換える姿を表現した。

黒田さんは18歳の時に交通事故で脳の右半分を損傷した。移動には電動車椅子を用いている。動かせる右手親指でスマートフォンを操作し、画面に文字を表示して意思を伝えている。

事故直後は自死を考えるほど絶望したが、リハビリをする中で、一人で外出するなど、少しずつできることを増やしていったという。



この取り組みは、黒田さんが「自分の体験を伝えたい」と世田谷パブリックシアターに相談したのがきっかけだ。黒田さんは意思疎通に時間がかかるため、自分で体験を語るのは難しい。そこで、役者らが黒田さんや介助者にインタビューをし、印象的な体験を抽出して台本にした。

「かっこいい服を買いに行きたい」という動機から電動車椅子に挑戦した逸話や、リハビリ施設から自宅まで若い女性のいる帰り道をうきうきしながら通る姿など、黒田さんの日常がユーモアを織り交ぜて演じられた。

この日の公演では子どもたちからも時折笑い声が上がっていた。リアルな障害者の姿や思いを知ってもらうことで「近寄りやすい」という心理的な壁を取り除いてもらうのが狙いだ。

企画に携わった高次脳機能相談員の川辺循さん（53）は「障害者に気を使い過ぎてしまう人も多いが、自分たちと変わらないんだということ、作品を通じて感じてほしい」と話す。



公演後は、黒田さんと子どもたちが一緒に買い物に出かけるという設定で、交流の時間があつた。子どもたちは、聴力の残る右耳に話しかけたり、「どちらがいいですか」と商品を実際に見せながら確認したりするなど、工夫してやりとりしていた。

子どもたちからは「自分が黒田さんの立場だったら助けてくれる人が欲しい」「みんなで協力するのが大事」などの感想が出た。黒田さんは子どもたちに対し、「日本の未来は明るくなって思えました」と、スマホを通じて語りかけていた。

公演は今年1月から埼玉、神奈川、長野など各地を回って行われた。同シアターでは今後も、同様の活動を続けていくという。

【令和5年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書①】

ID	UNI-08	分野 (大項目)	演劇	分野 (中項目)	演劇	区分	D区分
公演団体名	世田谷パブリックシアター			制作団体名	公益財団法人せたがや文化財団		

① 会場条件等についての確認

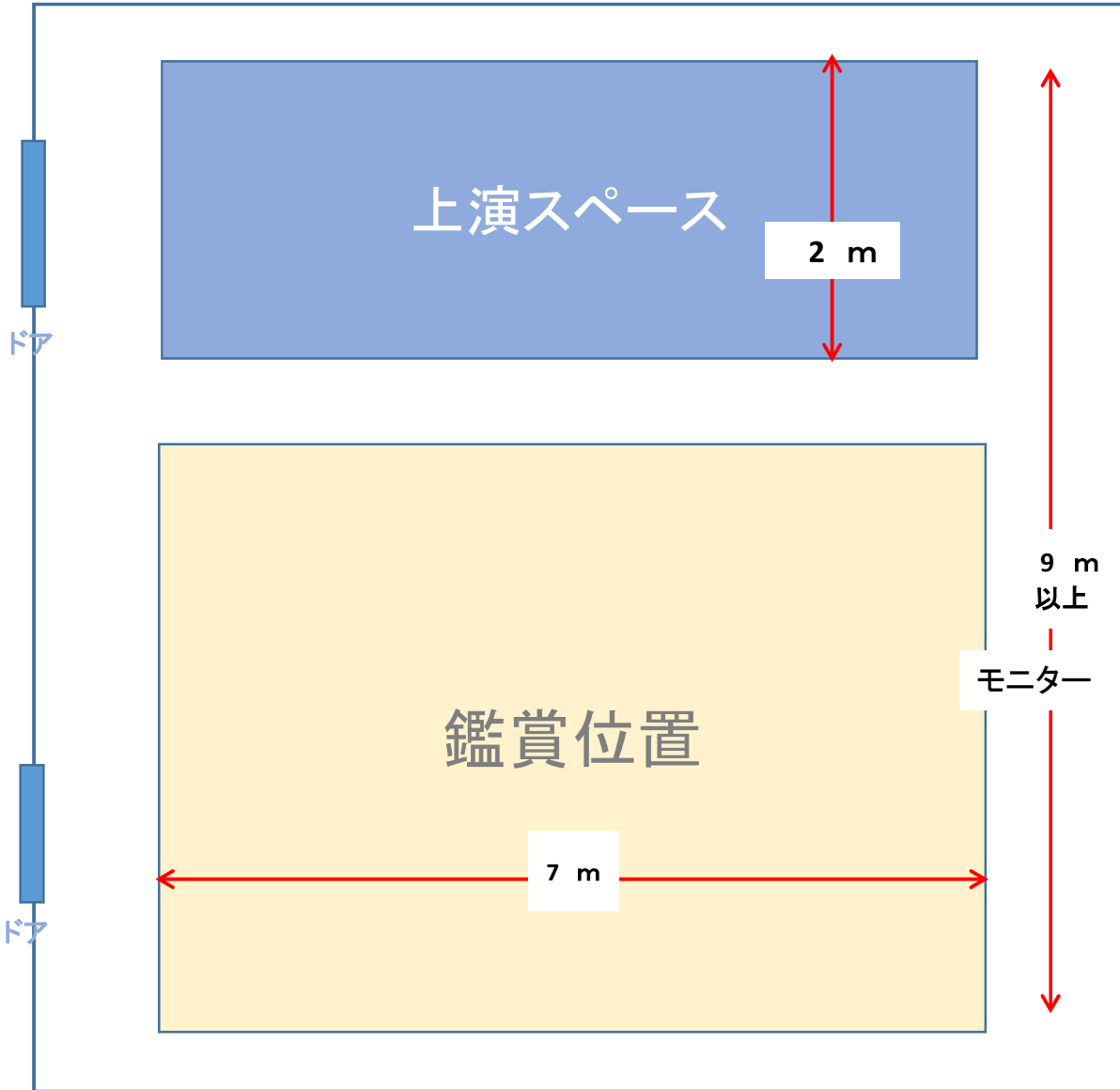
項目	必要条件等						応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	公演会場含め、車椅子がアクセスできるところ。			可	
搬入について	来校する車両の大きさとか数 *		バン	1台			—	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細		バンは、車椅子出演者の移動車両です。				/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ						—	
	搬入車両の横づけの要否 *		不要				—	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *		問わない				—	
	搬入経路の最低条件						—	
	理由						/	
	設置階の制限 *		問わない2階以上不可、エレベーターの設置等があれば2階以上も可				—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅		高さ		—	
WSIについて	参加可能人数	40人程度まで				可		
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	小学3年生から	中学生まで	可		
	所要時間の目安 単位:分	45～50分(1時限分)				可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数		40人程度				可	
	舞台設置場所 *		ランチルーム等やや広めの教室、車椅子がアクセスできる会場				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅		奥行	高さ	—	
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		不要				—
		舞台袖スペースの条件 *						—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要		理由		—	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		—
		ピアノの事前調律 *		不要				—
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *						—
公演に必要な電源容量		なし		※主幹電源の必要容量		—		
その他特記事項						応相談		
車椅子がアクセスできる1階、もしくはエレベーターがある						可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	高さ
搬入車両の横づけの可否	不要	
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

教室やランチルームの舞台



UNI-08	公益財団法人せたがや文化財団	前日仕込みの有無	なし
D区分	世田谷パブリックシアター	演劇	

6月1日	木	
6月2日	金	
6月3日	土	
6月4日	日	
6月5日	月	
6月6日	火	
6月7日	水	
6月8日	木	
6月9日	金	
6月10日	土	
6月11日	日	
6月12日	月	
6月13日	火	
6月14日	水	
6月15日	木	
6月16日	金	
6月17日	土	
6月18日	日	
6月19日	月	
6月20日	火	
6月21日	水	
6月22日	木	
6月23日	金	
6月24日	土	
6月25日	日	
6月26日	月	
6月27日	火	
6月28日	水	
6月29日	木	
6月30日	金	
7月1日	土	
7月2日	日	
7月3日	月	
7月4日	火	
7月5日	水	
7月6日	木	
7月7日	金	
7月8日	土	
7月9日	日	
7月10日	月	
7月11日	火	
7月12日	水	
7月13日	木	
7月14日	金	
7月15日	土	
7月16日	日	
7月17日	海の日	
7月18日	火	
7月19日	水	
7月20日	木	
7月21日	金	
7月22日	土	
7月23日	日	
7月24日	月	
7月25日	火	
7月26日	水	
7月27日	木	
7月28日	金	
7月29日	土	
7月30日	日	
7月31日	月	

8月1日	火	
8月2日	水	
8月3日	木	
8月4日	金	
8月5日	土	
8月6日	日	
8月7日	月	
8月8日	火	
8月9日	水	
8月10日	木	
8月11日	山の日	
8月12日	土	
8月13日	日	
8月14日	月	
8月15日	火	
8月16日	水	
8月17日	木	
8月18日	金	
8月19日	土	
8月20日	日	
8月21日	月	
8月22日	火	
8月23日	水	
8月24日	木	
8月25日	金	
8月26日	土	
8月27日	日	
8月28日	月	
8月29日	火	
8月30日	水	
8月31日	木	
9月1日	金	○
9月2日	土	
9月3日	日	
9月4日	月	○
9月5日	火	
9月6日	水	
9月7日	木	○
9月8日	金	○
9月9日	土	
9月10日	日	
9月11日	月	○
9月12日	火	○
9月13日	水	○
9月14日	木	○
9月15日	金	○
9月16日	土	
9月17日	日	
9月18日	敬老の日	
9月19日	火	○
9月20日	水	○
9月21日	木	○
9月22日	金	○
9月23日	秋分の日	
9月24日	日	
9月25日	月	○
9月26日	火	○
9月27日	水	○
9月28日	木	○
9月29日	金	○
9月30日	土	

10月1日	日	
10月2日	月	
10月3日	火	
10月4日	水	
10月5日	木	
10月6日	金	
10月7日	土	
10月8日	日	
10月9日	スポーツの日	
10月10日	火	○
10月11日	水	○
10月12日	木	○
10月13日	金	○
10月14日	土	
10月15日	日	
10月16日	月	○
10月17日	火	○
10月18日	水	○
10月19日	木	○
10月20日	金	○
10月21日	土	
10月22日	日	
10月23日	月	○
10月24日	火	○
10月25日	水	○
10月26日	木	○
10月27日	金	○
10月28日	土	
10月29日	日	
10月30日	月	
10月31日	火	
11月1日	水	
11月2日	木	
11月3日	文化の日	
11月4日	土	
11月5日	日	
11月6日	月	○
11月7日	火	○
11月8日	水	○
11月9日	木	○
11月10日	金	○
11月11日	土	
11月12日	日	
11月13日	月	○
11月14日	火	○
11月15日	水	○
11月16日	木	○
11月17日	金	○
11月18日	土	
11月19日	日	
11月20日	月	○
11月21日	火	○
11月22日	水	○
11月23日	勤労感謝の日	
11月24日	金	○
11月25日	土	
11月26日	日	
11月27日	月	
11月28日	火	
11月29日	水	○
11月30日	木	○

12月1日	金	○
12月2日	土	
12月3日	日	
12月4日	月	
12月5日	火	
12月6日	水	○
12月7日	木	
12月8日	金	
12月9日	土	
12月10日	日	
12月11日	月	
12月12日	火	○
12月13日	水	○
12月14日	木	○
12月15日	金	○
12月16日	土	
12月17日	日	
12月18日	月	
12月19日	火	
12月20日	水	
12月21日	木	○
12月22日	金	○
12月23日	土	
12月24日	日	
12月25日	月	
12月26日	火	
12月27日	水	
12月28日	木	
12月29日	金	
12月30日	土	
12月31日	日	
1月1日	元日	
1月2日	火	
1月3日	水	
1月4日	木	
1月5日	金	
1月6日	土	
1月7日	日	
1月8日	成人の日	
1月9日	火	○
1月10日	水	○
1月11日	木	○
1月12日	金	○
1月13日	土	
1月14日	日	
1月15日	月	
1月16日	火	
1月17日	水	
1月18日	木	
1月19日	金	
1月20日	土	
1月21日	日	
1月22日	月	○
1月23日	火	○
1月24日	水	○
1月25日	木	
1月26日	金	○
1月27日	土	
1月28日	日	
1月29日	月	○
1月30日	火	○
1月31日	水	○